

# 川西市公共交通計画 2024.4~2032.3



## 1 本計画の目的

本計画は、基本方針や目標、これを実現するための施策、評価の方法等を定めるものであり、計画に準じて施策を推進することで、持続可能で利用しやすい公共交通体系の維持・活性化を図ることを目的とします。

## 2 本計画の概要

- 2.1 計画の区域 川西市域全域
- 2.2 計画の期間 令和6年度から令和13年度
- 2.3 計画の対象交通 「公共交通」・「その他の輸送資源」
- 2.4 根拠法令 「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づく法定計画

※本計画における定義  
 ○公共交通…鉄道や路線バスといった乗合型かつ不特定多数の人が利用する交通手段のほか、地域の生活移動を支えている乗用タクシー  
 ○その他の輸送資源…既存の公共交通サービスだけでは望ましい移動サービスの提供が困難な場合に活用する手段（自家用有償旅客運送・スクールバス・病院や商業施設等の送迎サービス・福祉輸送・ボランティア輸送等）

## 基本計画

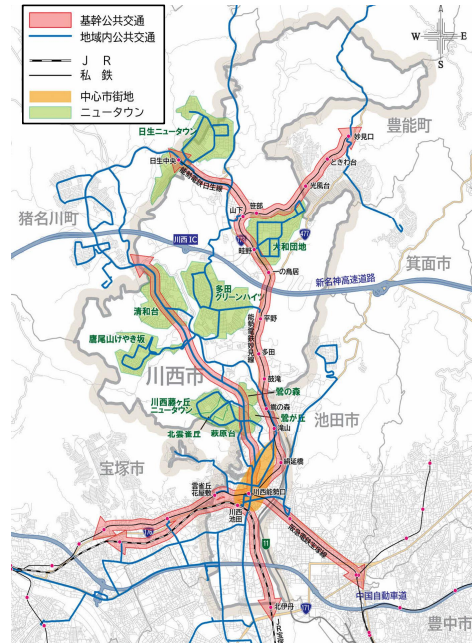
○基本計画は、本計画の基本理念及び基本方針を示すものです。

## 【基本計画】1 まちづくりと公共交通

### 川西市の交通体系

本市の公共交通は、主に「基幹公共交通」、「地域内公共交通」で構成されます。

種類(役割)	種類(モード)	
基幹公共交通	鉄道	JR西日本 宝塚線
		阪急電鉄 宝塚線
		能勢電鉄 妙見線
		日生線
地域内公共交通	路線バス	阪急バス
		伊丹市交通局
	乗用タクシー	
公共交通以外で市民の生活移動を支える主な移動手段	福祉タクシー・介護タクシー	
	ボランティア輸送	



## 【基本計画】2 公共交通の現状と課題

項目	現状	課題
①交通を取り巻く環境の変化	○今後、生産年齢(15~64歳)人口や年少(0~14歳)人口が減少する見込みであり、本市の生命線といえる基幹公共交通の定期利用者数の減少が想定される。	⇒子育て世代の転入促進のためにも、通勤・通学層の移動手段である基幹交通の維持・活性化が必要
	○移動に困る市民は多くないが、後期高齢者は移動に困っている人が増加。 ○高齢ドライバーの交通事故が多い。また、高齢者の身近な乗り物である自転車事故も年々増加傾向。	⇒後期高齢者の移動について、車以外の手段へ転換を促すことが必要
②交通空白地の状況	○交通空白地では個別輸送のタクシーを含め、公共交通の利用が困難な地区がある。 ○交通空白地の近隣にも移動が困難な地域がある。	⇒交通空白地等において、各地区の実情に合わせた移動手段の確保が必要
③公共交通の利用状況	○人口減少や新型コロナウイルス感染症の影響等に起因して、近年、公共交通の利用者は減少傾向にあり、今後、更に減少する懸念がある。 ○公共交通利用者の満足度は低下傾向にある。 ○公共交通を利用しない人の利用意向は低い。	⇒利用者数の減少で運行サービスを見直し、その結果が更なる減少につながる「負のスパイラル」とならないように、早期に利用者数の増加を図ることが必要
④公共交通の継続的な運行に係る事業者側の問題	○公共交通の利用者減少や運行コストの増加等により、交通事業者の収支は悪化傾向にあり、今後も厳しさを増す懸案がある。	⇒交通事業者が公共交通サービスの提供を継続できるように、車両更新や老朽化等、投資的なコスト増大を見据えた対策の検討が必要
	○全国的に公共交通に係る業界は人員不足が深刻であり、本市でもサービス低下の要因となっている。	⇒交通事業者が人員不足とならないような対策が必要
⑤公共交通サービスの提供環境に係る問題	○道路渋滞等に伴い、バス等において遅延が生じている。	⇒サービス水準の低下による利用者離れを引き起こさないように、定時性確保に向けた取組が必要

## 【基本計画】3 基本理念及び基本方針

### 基本理念

市民生活の質の向上を可能にする  
交通サービスの実現をめざして

### 基本方針

- 1 誰もが移動しやすい公共交通サービスの整備
- 2 環境にやさしくまちの賑わい向上につながる公共交通の利用環境の整備
- 3 日常生活を支える地域内交通サービスの構築

### 役割分担の考え方

市民・交通事業者・市のそれぞれが自らの役割を認識し、協働して移動手段の維持・活性化に取り組む必要があります。



# 実施計画

○実施計画は、基本計画に示した基本理念及び基本方針の実現を図るため、具体的な目標とその達成度を図るための評価指標、そして具体的な取組を位置づけるとともに、着実な実施に向けた評価方法などを示すものです。

## 【実施計画】1 基本方針実現のための目標及び評価指標

	目標 R13(8年後) ●...評価指標	目標 R8(4年後) ●...評価指標
1 誰もが移動しやすい 公共交通サービスの整備	<p>市民それぞれのニーズに合った公共交通を便利に使うことができる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●各公共交通の利便性に満足している市民の割合</li> <li>●自家用車よりも公共交通を利用することが多い市民の割合</li> </ul>	<p>自分たちのまちの移動手段として公共交通をとらえられる意識の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●公共交通を利用している・今後利用すると答えた市民の割合</li> </ul> <p>市民生活を支えるための公共交通サービスの維持・向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●阪急川西能勢口駅、JR川西池田駅、能勢電鉄の通勤・通学ラッシュ時間帯の平均運行本数/日(平日)</li> <li>●阪急バスにおける1日往復本数が5本以上の系統の割合(平日)</li> </ul>
2 環境にやさしくまちの賑わい向上につながる公共交通の利用環境の整備	<p>市民が公共交通に慣れ親しみ、何気なく出かけたいくなる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●川西能勢口駅、JR川西池田駅の1日当たり利用者数</li> <li>●山下駅、畦野駅、多田駅、鼓滝駅の1日当たり利用者数</li> </ul> <p>市民が自家用車に過度に依存せず、地球環境にやさしい移動手段を選べる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●温室効果ガス排出量の削減率</li> </ul>	<p>公共交通を使った外出機会の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●能勢電鉄の1日当たり利用者数</li> <li>●阪急バスの1日当たり利用者数</li> </ul> <p>公共交通の脱炭素化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●市内を運行するEVバス等低公害車の総台数</li> </ul>
3 地域内交通サービスを支える 日常生活を支える 地域内交通サービスの構築	<p>自家用車に依存しなくても、移動に困ることなく、誰もが安心して暮らせる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●日常の移動に課題を感じている市民の割合</li> </ul>	<p>交通空白地等への持続可能な移動手段の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●交通空白地の居住人口</li> </ul> <p>移動課題がある人の移動手段の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●外出の際の移動を支援してほしい高齢者や要支援者の割合</li> <li>●タクシーの利便性に満足している市民の割合</li> </ul>

## 【実施計画】2 基本方針実現のための取組

1 誰もが移動しやすい 公共交通サービスの整備	<p>地域の移動課題対策支援事業</p> <p>モビリティ・マネジメント(MM)の充実</p> <p>安全対策の推進</p> <p>公共交通維持及び利便性向上に向けた事業者連絡会の設置</p> <p>渋滞・違法駐車対策の推進</p> <p>タクシーの利用環境向上に向けた検討</p> <p>ユニバーサルデザインタクシーの導入</p> <p>隣接自治体との連携推進</p>
2 環境にやさしくまちの賑わい向上につながる公共交通の利用環境の整備	<p>地域の移動課題対策支援事業</p> <p>モビリティ・マネジメント(MM)の充実</p> <p>公共交通利用者増に向けた取組の実施</p> <p>福祉施設・コミュニティ等と連携した情報発信</p> <p>公共交通維持及び利便性向上に向けた事業者連絡会の設置</p> <p>渋滞・違法駐車対策の推進</p> <p>隣接自治体との連携推進</p> <p>EVバスの導入等の推進</p>
3 地域内交通サービスを支える 日常生活を支える 地域内交通サービスの構築	<p>地域の移動課題対策支援事業</p> <p>タクシーの利用環境向上に向けた検討</p> <p>ユニバーサルデザインタクシーの導入</p> <p>地域住民による訪問型支えあい活動に対する支援</p>

※赤太枠は各基本方針の重点施策、黒太枠はその他の方針にも関連する施策

## 【実施計画】3 計画の実現に向けて

「川西市地域公共交通会議」において進捗管理及び目標達成状況の評価を実施します。

